

1) 簡易推進工法の選定(参考)

簡易推進工法検討比較表(参考)

工法名 比較項目	ベビーモール工法 (鋼製さや管推進)	マルチモール工法 とんとん君 (打撃推進+オーガ排土方式)	スピーダー工法 SR-T02 (低耐荷力圧入工程)	うりん坊工法 (鋼製さや管推進)
管種・管径	さや管:鋼管( 300mm) 本管:VU( 200mm)	さや管:鋼管( 350mm) 本管:VU( 200mm)	本管:VP 200	さや管:鋼管( 350mm) 本管:VU( 200mm)
土質条件	粘性土・軟岩(固結土)砂質土	砂質土・粘性土礫混じり土 礫分 30%以下	粘性・砂質・礫質 礫分 30%以下	砂質土・粘性土礫混じり土 礫分 65%以下
発進	円形 1200 最小 900(円形・1号人孔)	円形 1200 最小 1200(円形・2号人孔)	B1500×L900 人孔(円形)からの発進は不可	円形 1200 最小 1200(円形・2号人孔)
到達	人孔到達可能(1号人孔)	掘削溝 B1,000×L1,000 程度 人孔到達(1号)は可能であるが、施工精度によっては人孔到達が困難となる場合があるため、開削溝への到達が望ましい。	掘削溝 B500×L500	人孔到達可能(1号人孔)
地下水位下での施工	透水係数が $10^{-3}$ 以上であれば全路線補助工法が必要。	発進・到達坑口部の補助工法で施工は可能。	発進・到達坑口部の補助工法で施工は可能。	発進・到達坑口部の補助工法で施工は可能。
推進可能延長	12m以下	6m程度	5~6m程度	7m程度
概算事業費 (直工)	305,000 円/m	108,000 円/m	—————	148,000 円/m
考察	1号人孔からの発進が可能で、1号人孔への到達も可能である。透水係数によっては全路線補助工法が必要となる。 経済的に最も高価である。	2号人孔からの発進が可能である。坑口部の補助工法で施工は可能である。 経済的には最も安価である。	人孔及び極小立坑からの発進は不可である。	2号人孔からの発進が可能で、1号人孔への到達も可能である。 経済的にはやや高価である。
適用				